

理学療法学科 [4年制]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

理学療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 医学および理学療法の専門知識と技能を学ぶための基礎学力を身につけている人
- 3 疾病や障害を持つ人の気持ちに共感し、障害の予防および改善に取り組む意欲を持っている人
- 4 保健、医療、福祉、スポーツ分野に強い関心を持っている人

CP

教育課程
編成
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

理学療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 1年次には、医療人としての倫理観や理学療法の枠組みを理解するとともに、人体の構造と機能について系統的に学習する。
- 2 2年次には、段階的な講義や演習、実習の教育カリキュラムを通して理学療法実践の基礎となる臨床医学、基礎理学療法学の知識を習得する。
- 3 3年次には、専門科目によって疾患別、障害別理学療法法の展開に必要な知識、思考、技術を身につけ、臨床推論に基づいた課題解決力を培う。
- 4 4年次には、診療参加型臨床実習を通して実践能力を育成するとともに、チームの一員として個人や地域社会の健康課題を担う資質と自覚を高める。また、研究活動を通して、探究的な学習態度と基礎力を身につけ、卒業後のキャリアについて育成する。

DP

目指す
人材像
ディプロマ
ポリシー

理学療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 健康増進や疾病予防、スポーツ、医療を介して多種多様なニーズに応え、地域社会、国際社会に寄与する志向を持っている。
- 2 医療人としてのプロフェッショナルリズムとコミュニケーション能力を身につけている。
- 3 臨床推論に基づいた基本的理学療法を提供するための基礎知識および基礎技能を身につけている。
- 4 社会保障制度や地域包括ケアシステムを理解し、保健、医療、福祉を担うチームの一員として多職種と協働且つ理学療法士としての専門性を発揮できる。
- 5 成長欲求を持ち、生涯を通して自己開発できる力を身につけている。

目指す資格

- 理学療法士 [国家資格]
- スポーツ科学トレーナー
- 初級バラスポーツ指導員 (予定)
- 日本トレーニング指導者 (JATI-ATI) (予定、希望者のみ)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	医療人ならびに理学療法士としての倫理観、責任感を身につける。正常な人体の構造と機能を理解する。		疾患の病態と症状の関連を理解する。理学療法における検査・測定が実践できる。初級バラスポーツ指導員の資格を取得する。		疾患別理学療法の理論および技術を身につける。患者像、障害像が把握できる。スポーツ科学トレーナーの資格を取得する。		指導者のもとで基本的な一連の理学療法プロセスを実施できる。主体的な探究と研究結果を分析し発表できる。生涯を通して学びの必要性和自らのキャリアについて考えることができる。	
カリキュラム	<p>講義 リハビリテーション医学概論</p> <p>演習 人間育成学Ⅰ</p> <p>講義 生化学</p> <p>講義 解剖運動学Ⅰ</p> <p>実技 体表面解剖学Ⅰ</p> <p>講義 解剖生理学Ⅰ</p> <p>講義 解剖生理学Ⅲ</p> <p>講義 解剖生理学Ⅳ</p> <p>講義 心理学</p> <p>講義 物理学</p> <p>健康科学</p> <p>演習 情報科学</p> <p>講義 統計学</p>	<p>講義 理学療法概論</p> <p>講義 医学英語</p> <p>講義 病理学</p> <p>講義 解剖運動学Ⅱ</p> <p>実技 体表面解剖学Ⅱ</p> <p>講義 解剖生理学Ⅱ</p> <p>演習 生理学演習</p> <p>講義 人間発達学</p> <p>講義 臨床心理学</p> <p>講義 老年学</p> <p>講義 スポーツ科学Ⅰ</p> <p>実技 理学療法評価学Ⅰ</p> <p>講義 理学療法研究論Ⅰ</p> <p>実習 見学実習</p>	<p>講義 保健医療福祉論</p> <p>演習 人間育成学Ⅱ</p> <p>講義 一般臨床医学</p> <p>講義 基礎理学療法学Ⅰ</p> <p>講義 基礎理学療法学Ⅱ</p> <p>講義 リハビリテーション神経学Ⅰ</p> <p>講義 リハビリテーション内科学Ⅰ</p> <p>講義 小児科学</p> <p>実技 運動療法学</p> <p>講義 人間工学</p> <p>講義 日常生活活動学</p> <p>講義 生活環境学Ⅰ</p> <p>講義 スポーツ科学Ⅲ</p> <p>講義 スポーツ科学Ⅱ</p> <p>実技 理学療法評価学Ⅱ</p>	<p>講義 リハビリテーション栄養学・薬理学</p> <p>講義 リハビリテーション診断学</p> <p>実習 解剖学実習</p> <p>講義 リハビリテーション整形外科</p> <p>講義 整形外科疾患の理学療法Ⅰ</p> <p>講義 リハビリテーション神経学Ⅱ</p> <p>講義 リハビリテーション内科学Ⅱ</p> <p>講義 動作分析セミナー</p> <p>講義 生活環境学Ⅱ</p> <p>講義 スポーツ科学Ⅳ</p> <p>実技 理学療法評価学Ⅲ</p> <p>演習 理学療法研究論Ⅱ</p> <p>実習 評価実習Ⅰ</p>	<p>講義 理学療法管理学</p> <p>講義 整形外科疾患の理学療法Ⅱ</p> <p>講義 整形外科疾患の理学療法Ⅲ</p> <p>講義 スポーツ傷害の理学療法</p> <p>講義 中枢神経疾患の理学療法Ⅰ</p> <p>講義 中枢神経疾患の理学療法Ⅱ</p> <p>講義 内部障害の理学療法Ⅰ</p> <p>講義 内部障害の理学療法Ⅱ</p> <p>講義 生活環境学Ⅱ</p> <p>講義 地域理学療法学</p> <p>講義 スポーツ科学Ⅳ</p> <p>演習 理学療法評価学演習</p> <p>講義 物理療法学</p> <p>講義 義肢学</p> <p>講義 装具学</p> <p>講義 トレーニング理論</p> <p>演習 理学療法研究論Ⅲ</p> <p>実習 評価実習Ⅱ</p>	<p>講義 理学療法セミナー</p> <p>演習 卒業研究</p> <p>実習 総合臨床実習Ⅰ</p> <p>実習 総合臨床実習Ⅱ</p> <p>演習 理学療法総合演習</p>		
	スケジュール	<p>4月 ●入学式 ●新生オリエンテーション</p> <p>5月</p> <p>6月 ●学生親睦会 ●冬休み</p> <p>7月 ●国際交流会 ●穴吹祭</p> <p>8月 ●夏休み</p> <p>9月 ●スポーツ大会</p>	<p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月 ●学生親睦会 ●冬休み</p> <p>1月</p> <p>2月 ●見学実習</p> <p>3月 ●医療系海外研修 (※希望者) ●春休み</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月 ●学生親睦会 ●冬休み</p> <p>7月 ●国際交流会 ●穴吹祭</p> <p>8月 ●夏休み</p> <p>9月 ●スポーツ大会</p>	<p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月 ●学生親睦会 ●冬休み</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月 ●医療系海外研修 (※希望者) ●評価実習Ⅰ ●春休み</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月 ●穴吹祭</p> <p>8月</p> <p>9月 ●スポーツ大会</p>	<p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月 ●学生親睦会 ●冬休み</p> <p>1月</p> <p>2月 ●就職講演会</p> <p>3月 ●医療系海外研修 (※希望者) ●春休み ●評価実習Ⅱ</p>	<p>4月 ●就職ガイダンス</p> <p>5月 ●総合臨床実習Ⅰ</p> <p>6月</p> <p>7月 ●穴吹祭 ●総合臨床実習Ⅱ</p> <p>8月</p> <p>9月 ●スポーツ大会</p>

主な科目内容	
リハビリテーション医学概論	リハビリテーション医学の概要を理解し、これから学ぶ臨床医学や専門分野に対する意識を高める。
スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	筋力の発揮やトレーニングにかかわる基礎知識の他、食事と運動パフォーマンスの関連などスポーツに関わる幅広い知識を身に付ける。BIODEXなどを用いた筋力測定その他、跳躍力、持久力などについて実践形式にて学修する。
動作分析セミナー	ヒトの起立動作や歩行などについて観察・分析するための理論と方法を学ぶ。
解剖運動学Ⅰ・Ⅱ	骨・関節・靭帯・筋・腱の構造と機能、関節運動のメカニズムについて学び、動作分析や運動療法に必要な基礎知識を身につける。
解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	神経(末梢・中枢神経系)および内臓(呼吸器・循環器・泌尿器・消化器など)の構造と機能、運動制御と運動学習について学ぶ。
リハビリテーション整形外科	骨関節障害を引き起こす主な疾患(変形性関節症、骨折、脱臼、靭帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など)の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション神経学Ⅰ・Ⅱ	中枢神経・末梢神経・筋の障害を引き起こす主な疾患(脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など)の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション内科学Ⅰ・Ⅱ	理学療法の主な対象となる内部障害の原因疾患(呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、糖尿病、腎臓病など)の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション栄養学・薬理学	栄養学の基礎、栄養障害とその対策について学ぶ。薬理学の基礎、薬理効果について学ぶ。
理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	関節可動域測定や徒手筋力検査法など理学療法領域で必要な身体機能の検査手技について学ぶ。
小児科学	小児の障害を引き起こす主な疾患(脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など)の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
バラスポーツ	各障がいへの理解や具体的な指導方法、安全管理、競技の工夫などについて実践を交えながらバラスポーツ指導員に必要な知識を身に付ける。
トレーニング理論	トレーニングの基礎や理論、計画の作成について学ぶ。また、各種トレーニングの理論をもとに必要な知識や技術、指導方法について実践形式で学ぶ。
整形外科疾患の理学療法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	骨関節疾患(変形性関節症、骨折、脱臼、靭帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など)に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
中枢神経疾患の理学療法Ⅰ・Ⅱ	中枢神経・末梢神経・筋の障害(脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など)に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
内部障害の理学療法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	内部障害(呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど)に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
発達障害の理学療法	小児の障害を引き起こす主な疾患(脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など)の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
運動療法学	関節可動域制限、筋力低下、持久力低下、姿勢異常、バランス・平衡機能低下などに対する運動療法の理論と方法を学ぶ。
日常生活活動学	日常生活活動(手段的日常生活活動を含む)の概念、範囲、評価方法(Bar thel index、FIMなど)、基本動作及びセルフケアの練習方法を学ぶ。
義肢学/装具学	義肢装具・福祉用具・車椅子などの種類、適応、適合性の確認、調整の方法について学ぶ。
情報科学	情報の意味および価値を理解するとともに、情報をIT(InformationTechnology)を使って有効な形態に加工し活用する技術を学ぶ。
理学療法研究論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	EBM、EBPT、エビデンスレベル、診療ガイドライン、研究倫理、研究方法(研究疑問・研究仮説・研究デザイン)などについて学ぶ。
見学実習～総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ	診療参加型臨床実習により、対象者との関係性、多職種との関係性、理学療法プロセスを学び、理学療法評価、リスク管理、理学療法治療技術を実践する。